

## 【プロティアンキャリア！新たなキャリアの築き方】

## 【キャリアコン・LETTERとは？】



キャリアコン・LETTERとは、働く人のお悩み（職業選択、職業生活設計、職業能力の開発・向上等）の相談のプロの国家資格キャリアコンサルタントが、お送りするキャリアの健康（いきいき働くこと）を支援するメッセージです。メッセージを読んで、ご自身に当てはめて、キャリアの健康チェックをしましょう！！

## 【そもそもキャリアってなに？】

『キャリア』という言葉を知ると、皆さんはどんなイメージを持ちますか。“華やかな経歴を持つエリートビジネスマン”や“出世のスピードが速いキャリア組の官僚”などをイメージして自分とは関係ないと思う方もいるのではないのでしょうか。ですが、厚生労働省「キャリア形成を支援する労働市場政策研究会」報告書では『キャリア』を次のようにとらえています。

「キャリアとは、一般的に「経歴」、「経験」、「発展」、さらには「関連した職務の連鎖」等と表現され、時間的持続性ないしは継続性を持った概念とされています。「キャリア」を積んだ結果として、「職業能力」が蓄積されていくものです。」

つまり、「キャリア」とは一部の人のみでなく、全ての人が積み重ねていくものを意味します。また、広義で捉えると仕事だけの側面だけでなく、生涯、プライベートを含んで積み重ねていくものを意味します。

## 【変化の激しい今の時代にあったプロティアンキャリアとは？】

『キャリア』は全ての人が積み重ねていくものですが、その『キャリア』の積み重ね方は時代と共に変化しています。今回は“従来のキャリア”と今の時代にあった“プロティアンキャリア”を比較してご紹介します。

プロティアンキャリアとは心理学者のダグラス・ホールが提唱したものです。このプロティアンキャリアは環境変化することが前提となっています。そういった点で、現代のような変化が目まぐるしい社会にあった考えだと言えます。（例：終身雇用が当たり前の時代→転職が珍しくない時代）

従来のキャリアは所属する組織が主体のキャリア形成でした。その組織から何を求められるか、その組織にどのように適応するか等に対応していくことでキャリアを築いてきました。しかし、現代のような変化が多く、多種多様な働き方が存在する現代においては、個人が主体となりキャリアを形成していくことが重要です。プロティアンキャリアを築いていくために、何に重点を置くべきかを比較表にまとめました。下記表を確認しながら、自分の価値観で自分が主体でキャリアを築いていくと意識して、今後のキャリアプランを見直してみましょう。

項目	プロティアンキャリア	従来のキャリア
who(誰が主体でキャリアを形成するか)	個人が主体	組織が主体
how(どのようにキャリアを積むか)	自らの可能性の最大化に取り組む	与えられた仕事をこなす
identity(アイデンティティ)	自分は何がしたいのか (自己への気づき)	自分は何をすべきか (組織における気づき)
adaptability(アダプタビリティ/適応)	仕事関連の柔軟性 (市場価値)	組織関連の柔軟性 (組織で生き残ることができるか)
success(何を成功とするか)	個人の心理的な成功を重視 (内的動機づけ)	社会的地位・金銭を重視 (外的動機づけ)
purpose(働く目的)	自分のキャリア（心理的成功）のために働く	組織に求められるために働く
values(核となる価値観)	自由、成長	昇進、権力

自分のキャリアは与えられるのではなく自らが築いていくのか



働く方の心身・キャリアの健康向上に課題・ご希望がある際は当社へご相談ください。

株式会社ウェルネスサポート

TEL 052-265-8921 FAX 052-265-8922

URL <https://wellness-sp.co.jp/>

